



19 筑建第 70 号

平成19年5月1日

国土交通省道路局長 殿

筑前町長 手 柴 豊



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け、国道企第114号にて依頼のありました標記の件につきましては、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路政策や道路の整備管理について

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策について

本町は、三輪町と夜須町が合併し平成17年3月22日誕生した町である。一日も早く両町の融和を図るため、新町計画を策定し推進をしているところである。その一つの施策として新町内地域の連携を強化し、町民生活の利便性を高める為道路整備を実施しているが、そのなかでも特に次の事項を重点課題としてとらえている。

- (1) 本庁舎を中心とした道路網の整備及び通学・通勤等の日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備
- (2) 地域の活性化や物流の為の高速道路I.Cへのアクセス道路の整備
- (3) 子供や高齢者が安全で安心して通行できる歩道の整備及びバリアフリー対策

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべき点について

道路施策を実施する上で、無駄を省きコストを削減し効率化の徹底を図ることは必要不可欠なことであると判断している。そのなかでも次の点を最も重要な課題と考えている。

- (1) 道路新設改良等において、工法の工夫や新技術の活用を図りコストをいかに削減できるか。
- (2) 本庁の現在の入札システムは、指名入札がほとんどであるが、談合防止・公正なる競争入札の視点より電子入札及び一般競争入札の検討

3. その他

- (1) 高速道路等において、多額な事業費を投資しても通行料金が高いため車両が通行しなければ投資効果は薄れ、交通渋滞も解消されない。しかし、料金を下げることにより通行車両が増加すれば投資効果も高まり、収支の採算性も取れると判断する。この観点より現在ある高規格道路の通行料金等の見直しを含め有効活用を検討すべきであると考えている。